

「女性の学習の歩み」 研究セミナー

社会・地域・家庭の中で、葛藤や障壁を乗り越えてきた「女性の学習の歩み」をまとめた実践・研究レポートの受賞作品が決まりました。

受賞レポートを基に、女性の教育・学習の足跡を検証する視点や方法について、一緒に考えましょう。

授賞式・受賞レポートの報告

入選 杉山 弘子 さん〔神奈川県〕

「学び」そして「挑戦」しつづけて

佳作

大橋 とも子 さん〔東京都〕

◆見て 聞いて 知って 動いた

東 由水枝 さん〔広島県〕

◆自分らしい生き方の探求 - 「学び」から「社会的活動」へ -

選考委員の講評

國信 潤子 (愛知淑徳大学ビジネス学部教授) 委員長
江刺 昭子 (女性史研究者)
小林 繁 (明治大学文学部教授)

グループでの話し合い

2007 年 2 月 19 日 (月)

午後 1 時 30 分 ~ 4 時 30 分

日本女子会館 5 階 講義室

参加費 2,000 円 (資料: 今年度入選レポート等)

参加者 25 人 (先着順)

お申込 住所・氏名・年代・所属・電話番号を明記のうえ、郵便、FAX、メールで下記までお申込みください。折り返し、参加証をお送ります。



交通案内

JR 浜松町駅北口・徒歩 8 分
都営浅草線・大江戸線大門 A3 出口・徒歩 5 分
都営三田線芝公園 A3 出口・徒歩 3 分

再チャレンジのモデルがここに！！

入選 「学び」そして「挑戦」しつづけて

杉山 弘子さん

一人の女性が戦中、戦後そして日本の経済成長を乗り越え、さらに高齢期に新たな挑戦をして生き抜いた姿が活写されています。・・・入選となった理由は、よく時系列で整理されていること、構成があること、しかも自分の状況と当時の社会規範との葛藤やその落差を必死に克服する姿が見えてくることです。

選考委員講評（抜粋）

佳作 見て 聞いて 知って 動いた

大橋 とも子さん

学ぶことと活動することが相互に結びついているがゆえに本当の意味での生きた学習になり、それが現実を変えていく原動力となっているという意味で、その学びの歩みが自己の成長の営みの中に確かに刻印されていることが読みとれます。

佳作 自分らしい生き方の探求

- 「学び」から「社会的活動」へ -

東 由水枝さん

変わりたいけれど変わらない女性たちへの心強い応援歌と言えます。学習することで自己完結せず、夫や周囲を巻き込んで社会的活動に発展させた力も見事です。そうして、実践と理論を有機的に結びつけた自身の生き方を冷静にふり返り、分析した自分史は秀逸です。

FAX でのお申込みはこちらをご利用ください。

FAX 送信先：03-3434-8082 財団法人 日本女性学習財団 宛

2006 年度「女性の学習の歩み」実践・研究レポート選考報告会
「女性の学習の歩み」研究セミナー

参加申込書

ふりがな		電 話	
氏 名		年 代	
住 所	〒 -		
所属等			